

# 一般質問します！

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して行う質問です。

市政を質す！  
ただ



## 【質問者 13 名】

### 【質問順】

P15	長島 幸男	議員	P19	岩本 好夫	議員
P16	鈴木 俊一	議員		小川 賢治	議員
	植木 弘子	議員	P20	石井 旭	議員
P17	荒川 一秀	議員		幡谷 好文	議員
	谷仲 和雄	議員	P21	戸田 見成	議員
P18	村田 春樹	議員		福島 ヤヨヒ	議員
	木村 喜一	議員			



## 高齢運転者の免許証自主返納について

### 高齢者が返納しやすい環境づくりに取り組んでいく

長島 幸男

**Q** 本市における自主返納の状況について伺う。

**A** 危機管理監 平成30年末の、小美玉市在住の運転免許証所有者は、36192人、そのうち65歳以上の所有者は、9413人で、26%となっており、その割合は年々増加の傾向にある。過去3年の自主返納の状況は平成28年59人、平成29年95人、平成30年107人と少しずつではあるが、自主返納の流れが浸透している。返納の理由は、病気や高齢により身体能力の低下、そして運転技能の低下などや、家族からの助言などによるもの。事故の内容は、主に車同士の事故が9割を占めている。原因は、前方不注意によるもの、安全を確認せずに運転をする安全運転義務違反による事故が原因の約7割を占めている状況。

**Q** 自主返納に対する優遇制度について伺う。

**A** 危機管理監 運転免許証を所有していない方も含めて、タクシーを利用する際、初乗り相当分の助成券の発行や公共交通市内循環バスの運行（50%割引）、買い物ツアー事業など高齢者等外出支援事業として様々な制度がある。年々、高齢者の事故が増えている現状を考えると高齢者に対する交通安全教室の開催や、「運転免許証の自主返納制度」の周知に広報紙、ホームページ、高齢者が集まる機会に啓発し、返納しやすい環境づくりに努めてまいります。

### 【その他の質問】

○小、中学校の熱中症対策について

・学校体育館での熱中症対策について

・小、中学校の冷暖房の設置状況について伺う

・熱中症対策はどのような講じられているか

○学校図書館の本について  
・保管方法、廃棄方法は



## スーパー公務員からまちづくりの研修を

### 事務の効率化に関する研修を優先する

鈴木 俊一

- Q 人口減少を食い止める方策が企業誘致にあると考えるが。**  
**A 産業経済部長** 企業の進出に当たり、事前協議で指導助言を行い、市民生活の環境を保全し地域住民との良好な関係の構築に努めている。既存の企業に対し、個別訪問による情報提供にあわせた方針等の聞き取りを行っている。
- Q 未来を担う子どもたちに、人口減少を食い止める方策のもう一つが教育であると考えが。**  
**A 教育長** 結婚、出産、子育てなど未来のライフプランを考え、進路、仕事の選択の必要性を理解し、夢や希望を叶える一助として、中学生を対象に、ライフデザインセミナーを実施している。思春期の子供たちに、生命の大切さや人を思いやる心を育み、母性、父性を育むことを目的に、赤ちゃんふれあい体験学習を実施している。
- Q 次世代につなぐ環境づくりは。**  
**A 市民生活部長** 全国的な事例では、幅広い分野でEM菌の効果があらわれている。し尿処理やごみ処理施設での活用をはじめ、農畜産業においてもEM菌で悪臭が軽減したなどの事例がある。EM菌の活用は、他の対策に比べ、安価であり、取り組みやすい対策であると認識している。
- Q 市内経済活性化策は。**  
**A 産業経済部長** 紙によるプレミアム商品券により地域通貨事業を行っているが、電子化に向けた動きはない。
- Q つくばエクスプレスの延伸は。**  
**A 市長公室長** 茨城空港の利用促進、小美玉市の発展に必要である。10年、20年先の発展につながるまちづくりであり、関係者が一体となって取り組んでいく。
- Q 市の職員に人口減少を食い止めるアンケート調査を。**  
**A 総務部長** 市長より市外に住む職員には外から見た小美玉市を、市内に住む職員には内からみた小美玉市を、色々知恵を出してほしい旨の指示があった。

## 子育て世代包括支援センターの設置を求める

### 令和2年4月の設置に向け、体制を整備していく

植木 弘子



- Q 適切な関係機関や支援につなげやすく、利用者の負担の軽減につながる窓口を一本化した子育て世代包括支援センターの設置を求める。**  
**A 保健衛生部長** これまで3か所の保健センターで各々把握していた情報がセンターで集約され、一元化されることで市民および関係各課においても連絡調整がスムーズになり、必要な方に必要な支援が切れることなく、継続することが可能となる。このセンターが機能することで、支援の充実による市民サービスの向上を目指し、令和2年4月の設置に向けて体制を整備していく。
- Q 職員の防災訓練の考えと取り組みについて。**  
**A 危機管理監** 平成30年度においては防災行政無線を使った情報伝達訓練に36名、避難所の運営を図上で行う
- Q 本市独自のわかりやすく、読みやすく、身近に置いて日常生活の中で防災意識を促す「防災ハンドブック」の作成を求める。**  
**A 危機管理監** 自治体で作成している防災に関する冊子は様々な物があり、女性向けの「防災ハンドブック」を作成している自治体もある。先進事例を参考に、今後、作成に向け準備作業に着手していく。
- 【その他の質問】**  
 ○ 産前産後ケア事業の考え方と取り組みについて  
 ○ 今年度の防災訓練の計画について



## 遠州池全体の整備は

### 適切な施設管理に取り組む

荒川 一秀

Q 遠州池全体の整備について  
 ①所有権及び管理者について  
 ②水利権はどうなっているのか  
 ③地震に対する防備、護岸は？  
 ④景観について⑤今後の計画は？

A 産業経済部長 市が所有し管理しているが、周辺の草刈や樹木の管理は羽根区や地元維持管理組合が行っている。ため池が持つ農業用水の貯留機能や洪水調整機能を十分に発揮できるように維持管理が重要で、陥没部分の復旧や危険箇所解消など適切な施設管理に取り組み、地域の憩いの場の景観保全は、これまで同様に地域の皆様のお力をお借りしながら取り組みたい。



▲ 遠州池

は、費用対効果を視野に入れ、市の土地利用構想などを踏まえた具体的な土地利用計画や主要幹線道路等の整備と整合を図りながら、基盤整備に取り組んでいく必要があると考えている。

Q 公共下水道の進捗状況について

納場南部地区への導入計画は？

A 都市建設部長 納場南部地区の計画区域は、納場地区の他、江戸・部室・張星地区に跨り、面積は139ha、家屋・事務所・店舗等を含めた戸数は、421世帯で計画しており、地域特性や経済性等を考慮し、整備地域の優先度を選択した上で、できるだけ早期に納場南部地区の下水道整備を実現したい。

Q 企業誘致とインフラ整備について

A 水道局長 水道事業も雇用創出や財源確保のために有効な企業誘致と同様に、安定した事業経営のため、給水収益の確保、経営基盤の強化が課題となっている。

インフラ整備について

は、費用対効果を視野に

入れ、市の土地利用構想

などを踏まえた具体的な

土地利用計画や主要幹線

道路等の整備と整合を図

りながら、基盤整備に取

り組んでいく必要がある

と考えている。

## 小美玉市地域公共交通の目指すべきところは

### 地域の需要に応じた交通弱者の生活基盤の確保

谷仲 和雄



Q 小美玉市地域公共交通について、地域公共交通会議での論点と地域公共交通の目指すべきところを問う。



▲市内循環バス

はあるのかなど2点について議論を進めている。本格運行への移行については、地域循環バスが9月1日よりルート変更を行ったので、利用動向を検証したうえで、本年度中に方向性を地域公共交通会議で示す方針。併せて廃止となった場合の代替施策についても検討する予定。小美玉市地域公共交通実証運行計画の目的は、地域の需要に応じた公共交通不便地域の改善及び交通弱者の生活の基盤となることであり、本市における地域公共交通の目指すべきところは変化してないと考えている。

A 企画財政部長 平成25年10月から市内循環バス、並びに平成27年6月から地域循環バスの実証運行を行っている。これまで三度の期間延長を行い、運行ルート及び時刻の変更など利用者の利便性向上を図りながら利用動向を検証している。その中で、地域公共交通会議での論点としては、これまでの検証結果等を踏まえ、本格運行へ移行出来るのか、又、廃止した場合の代替措置として、特に高齢者に対する代替施策等



▲地域循環バス

※日本版CCRCとは？・・・「東京圏をはじめとする高齢者が、自らの希望に応じて地方に移り住み、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療・介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような地域づくり」を目指すもの。



## 羽鳥駅と茨城空港を結ぶ直行バスの運行実現は

### 今後も県に要望していく

村田 春樹

**Q 羽鳥駅と茨城空港を結ぶ直行バスの運行を考えているのか。**

**A** 都市建設部長 令和2年度県政に対する要望の中でバスの運行の支援について県に要望したところですが、今後も、羽鳥駅と茨城空港を結ぶ直行バスの運行の実現にむけて、機会を捉えて県に働きかけていく。

**Q 東口仮設自転車置き場とロータリーを結ぶ横断歩道について。**

**A** 都市建設部長 現在担当課において検討中。今後、警察協議等を含めて進めていく。

**Q 茨城空港と東京駅を結ぶ高速バスについて。**

・停留所とあわせて高速バス利用者の無料駐車場を、今後検討し設置して頂きたい。

**A** 都市建設部長 市といたしましても、茨城空港アクセス道路の全線開通後の高速バスルートの見直し及び停留所の設置については、茨城空港の利用促進につながるものと考え

えておりますので、県の動向を注視しながら、働きかけていく。

#### 【要望】

○羽鳥駅と同様に市民の交通の利便性向上を考え、県に要望して頂きたい。

#### 【その他の質問】

○小美玉市で※日本版CCRC、生涯活躍のまち構想をどのように考えているのか。

○小美玉市移住促進住宅取得助成金事業について。

・今後移住者向けだけではなく、市内の人向けに住宅取得助成金事業を考えてみるのはどうだろうか。  
○クールチョイスの促進について。



▲羽鳥駅東口

## 農村滞在型旅行者受け入れのため農泊への支援策を

### 農業体験型観光の企画や農泊事業者への支援を研究する

木村 喜一



**Q** 本市に於ける幼児教育、質の確保、向上に向けた実践総合プランは如何に。

**A** 教育部長 福祉部、私立園と協力し、幼児期教育と小学校教育の接続力リキウムを創り全体の向上を目指していく。

**Q** 美野里地区の公立幼稚園の将来像や、預かり保育の実施計画は。

**A** 教育部長 美野里地区公立幼稚園は令和3年に1園に集約することを目指し、預かり保育についても実施する。

**Q** 農業経営強靱化の為、GAPの取得推進や更なる支援策を望む。

**A** 産業経済部長 GAP普及推進の為、専門員の派遣費用金額支援の他、農産物の産地育成に向け取り組む。

**Q** 持続可能な農業経営の為に、第2次土地改良事業の推進を望むが将来を見据えた現在の取り組み状況は如何に。

**A** 産業経済部長 市内3地区において、畑地整備事業の実施に向けて検討をしている。

**Q** 国際空港を抱える田園都市、地元食材普及に繋がる農泊開設者への支援策を望む。

**A** 産業経済部長 農業体験型観光の企画や農泊を事業化したい農業者を支援する為、調査及び研究を進める。

**Q** つくばエクスプレス延伸に向けた要望活動の状況や、今後の展開計画、関係機関との連携状態は如何に

**A** 市長公室長 公共交通充実の為、茨城空港直結を目指し、要望活動の促進に努める。

#### 【その他の質問】

○「平成の大検地」農地の利用実態調査の進捗状況。

○農地賃貸借のマッチング状況や、課題・今後の目標。



請願・陳情の未実施案件の処理状況は

今後も未実施案件に対し必要な措置を講ずる

岩本 好夫

は、社会状況の変化や改修整備の検討等で未実施案件となっている。規制を定める1件は、関係機関との調整や状況の解決に長期化を要するため未実施になっている。

**Q** 私の平成18年12月定例会、一般質問の答弁。合併前旧3町村で採択された請願、要望書の未実施案件は74件。現在の処理状況は。  
**A** 総務部長 平成三十九年度末の処理状況は美野里地区が18件、小川地区が16件、玉里地区要望は完了。  
**Q** 合併後、採択した請願、陳情の未実施案件。現在の処理状況は。  
**A** 総務部長 処理完了が35件、実施中7件、未実施、検討中8件。内容は道路整備4件、建設・改修3件、規制を定めるもの1件。道路整備は計画・着手に時間を要する案件や工事着手から完了までに整備期間を要する案件がある。建設・改修3件

**Q** 現在未実施案件の主な理由について。  
**A** 総務部長 道路整備は毎年度、必要性や整備状況を把握し実施計画を策定するが事業費の見込や目標を立て妥当性、効率性など総合的に評価し通学路整備などを優先する場合がある。今後も国や県の特定財源を確保し道路整備に努める。  
**Q** 現在41件の未実施案件がある。実現が困難な案件は。  
**A** 総務部長 困難な案件は1件、請願・陳情の対応は、執行部として、議会の議決による採択ということでも重く受け止め今後も状況の変化に対応し必要な措置を講ずる。  
**【要望】**  
 ○今後も案件処理の最善の措置を要望。  
 ○議会も請願を採択した以上、最後まで請願者に対し責任を取っていききたい。



「茨城空港アクセス道路」の愛称は

全線供用開始後、県や石岡市と協議の上、検討してまいります

小川 賢治

**A** 都市建設部長 茨城空港への利便性向上などをPRすると共に、全線供用開始後、関係する茨城県や石岡市などと協議の上、愛称の募集や決定方法などを今後検討していく。

**Q** 「茨城空港アクセス道路」が9月21日一部供用開始されました。アクセス道路の愛称について市の所見を伺います。

▼茨城空港アクセス道路



▲茨城空港アクセス道路 開通式の様子

**Q** 玉里小・玉里北小・玉里東小の統廃合後の活用推進方法について伺います。

**A** 総務部長 「庁内に学校跡地利用の検討組織を設置し、全庁的な観点から総合的に判断するほか、地域のご意見をお聞きしながら、利活用の検討を進めていくこと」としております。これを踏まえまして、市の発展・地域の活性化に繋がるよう、様々な活用形態や民間活力の導入なども含めて検討する。



▲玉里北小学校校舎



そ・ら・ら指定管理者制度導入の検討状況は

今後、より具体的な協議を進めて行く

石井 旭

**Q** そ・ら・らイベント開催業務委託料1000万円は、『まちづくり基金』を活用しているが、現在残高253万円ですが、一般財源を充てるのか。

**A** 産業経済部長 そ・ら・らにおけるまちづくり基金の活用は、平成30年度まででございまして、今年度からは昨年度末の3月補正において5000万円の積み立てをいたしました小美玉市地域再生交流拠点施設維持管理運営等事業基金を活用して、これまでと同額の委託費を予算化し、事業に取り組んでいく。

**Q** 指定管理者の運営方法について成功事例を視察しており、それを受けて今後はより具体的な協議を進めていく。

**A** 産業経済部長 小美玉市第二次総合計画の実現に向けて、ことし4月にまちづくり構想策定委員会が組織され、まちづくり構想の策定を進めています。その中で、「そ・ら・ら」施設の拡充や茨城空港周辺との活性化等も検討している。

**Q** 公共施設等総合管理計画の進捗状況と優先順位は。

**A** 総務部長 学校施設は、夏休み中に建物の状況把握するため、現地調査を行い、学校施設以外の公共施設につきましましては、検討会議におきまして、各部署に実態調査を依頼しており、現在、利用状況、運営状況、コスト情報等の把握に向けて取り組んでいる。

消防力を高め、災害対策強化を

各種災害に対応できるよう充実強化を図る

幡谷 好文



**Q** 地域防災体制の中核的存在である消防団員数が年々減少傾向にあるが、市の対策について所見を伺う。

**A** 消防長 現在510名の消防団員に活動いただいており、市職員も20名在籍している状況。団員数が年々減少していることを受け、平成28年度には体制強化の一環として女性部を発足し、現在8名の女性団員に火災予防広報活動や応急手当の普及啓発、災害現場後方支援を担当していただいている。今後も車両の更新や資器材等の充実強化を図り、消防団が活動しやすい環境づくりを整備し、団員確保の為に啓発活動に努める。

**Q** 大型給水車の導入を早急にお願しいたいが、市の考えは？

**A** 消防長 阪神・淡路大震災を教訓に都市部での配備が急速に促進

されている状況である。水利の確保が難しい場所での初期消火活動、また大規模断水時に飲料水としての給水活動等、有効であると考ええる。市民の安心・安全を守るために財源を勘案しながら総合的に検討する。

**Q** 防犯カメラの市内設置状況と今後の設置計画について伺う。

**A** 危機管理監 道路沿線や交差点付近に27台、駅周辺に9台、公共施設内外に61台、幼稚園や小学校、中学校に47台、合わせて144台の監視カメラを含む防犯カメラを設置している。今後も効果を検証しながら、財源の確保に尽力し、関係機関や警察などと協議をしながら計画的に取り組みとともに、防犯カメラ設置要綱の管理徹底や公用車へのドライブレコーダー導入についても計画的に取り組む。



## 住み良い小美玉市を願って最後の質問

### 今後も、住み良いまちづくりを進めてまいりたい

戸田 見成

Q 大和田議員の死を悼む  
① 助けることはできな  
かったのか？

② 身近な救急医療の充実  
を図るべきではないか？

A 保健衛生部長 小美  
玉市医療センターを中  
心に、その他の病院  
それから近隣市町村の  
二次救急、三次救急と  
連携、協力しながら、  
体制を構築していく。

Q 政府が教育改革を呼  
んでいます、その準  
備は進んでいますか。

A 教育長 昨年度4月よ  
り今後10年間の教育施策  
方針「小美玉市教育振興  
基本計画」に基づいて、  
各施策を進めている。

Q 新市建設計画の中で  
財政の健全化について  
述べられています、  
達成されましたか。

A 企画財政部長 行財政  
改革を一層推進させ、  
行政コスト削減をより  
一層進めていく必要が  
あると考えている。

Q マスタープランの見

直しは進んでいますか。  
・夢のある市の将来の  
プランを造って下さい。

A 都市建設部長 マス  
タープランの中間見直  
しに對しましては、現  
在、令和2年度に着手  
できるように準備を進  
めている。

Q 危機管理について。  
① いざという時に即座  
に執行できるよう訓練  
していますか。

A 危機管理監 昨年同  
様、情報伝達訓練、H  
U G 訓練の実施に向け  
て、現在、関係機関と  
調整を行っている。

【その他の質問】

・玉里地域の道路整備  
について。

・美野里と玉里地区を  
結ぶ栗又四ヶ線

・小中一貫校周辺の通  
学道路の整備

・ゴミ処理場付近の道  
路整備

・放射能汚染の補償請  
求の状況を報告下さい。

○皆様、ありがとうございました。



## 東海第2原発の廃炉宣言を

### 安全対策首長会議の一員として慎重に検討する

福島 ヤヨヒ

Q 小美玉市は東海第2原発  
の事故があるとき、ひたち  
なか市民8000人の避難  
受け入れの協定を結んだが、  
どのような想定で受け入れ  
計画を立てたのか。東海第  
2原発は再稼働でなく市長  
として今すぐ廃炉宣言を。

A 危機管理監 避難受け  
入れ計画は本市が平常時  
である想定で受け入れ計  
画を立てている。東海第  
2原発については、国の  
動向を把握しながら安全  
対策首長会議の一員とし  
て慎重に検討する。

Q 子育て支援策の充実と  
して、避難所にもなる体  
育館にもエアコン設置を。

A 教育部長 現在におい  
て体育館へのエアコン設  
置の計画はないが、関係  
部署と調整を図る。

Q 国保税の中での子どもに  
対する均等割り税の値下げ  
廃止を願うがどう検討され  
ているか。出産祝い金もすべ  
ての赤ちゃんに支給して欲しい。

A 福祉部長 子どもの均等  
割りについては全国知事会  
議で国に要望提案されてい  
る。納税者の公平性を重

視し、できるだけ多くの子  
どもへの給付に努めます。

Q 高齢者施策としてデマ  
ンドタクシーは検討され  
たのか。運転免許証を返  
納しても外出するための  
巡回バスやタクシー券の  
充実を図って欲しい。

A 企画財政部長 地域  
公共交通会議で検討さ  
れたが、運行事業者の  
理解が得られず、地域  
循環バスの導入となっ  
た。交通弱者の利便性向  
上のため導入の検討は  
継続して審議している。

【要望】

○高齢者向けの福祉バス  
の検討を願う。

Q 若者定住施策として  
住宅リフォーム制度の  
さらなる充実策を。移  
住だけでなく、住み続  
けている人たちにも定  
住し続ける施策を。

A 市民生活部長 リフォー  
ム受付は5〜7月となっ  
ており予算は150万円、今  
のところ足りている。若者  
定住のために結婚支援、雇  
用対策など今後も人口減少  
対策を進めていく。